

# 9月定例教育委員会会議録

開催年月日	令和4年9月22日(木)																								
開催日時	午後3時00分																								
開催場所	別館3階大会議室																								
出席委員	<table border="0"> <tr> <td>教 育 長</td> <td>三 笈 真 治 郎</td> <td>職 務 代 理 者</td> <td>木 下 靖 郎</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>永 山 真 江</td> <td>委 員</td> <td>諫 本 憲 司</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>古 田 嘉 寿 美</td> <td>委 員</td> <td>佐 々 木 美 徳</td> </tr> <tr> <td>委 員</td> <td>荒 川 富 士 子</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	教 育 長	三 笈 真 治 郎	職 務 代 理 者	木 下 靖 郎	委 員	永 山 真 江	委 員	諫 本 憲 司	委 員	古 田 嘉 寿 美	委 員	佐 々 木 美 徳	委 員	荒 川 富 士 子										
教 育 長	三 笈 真 治 郎	職 務 代 理 者	木 下 靖 郎																						
委 員	永 山 真 江	委 員	諫 本 憲 司																						
委 員	古 田 嘉 寿 美	委 員	佐 々 木 美 徳																						
委 員	荒 川 富 士 子																								
出席参与	<table border="0"> <tr> <td>教 育 次 長</td> <td>中 山 敏 章</td> <td>教 育 総 務 課 長</td> <td>瀬 口 英 隆</td> </tr> <tr> <td>社 会 教 育 課 長</td> <td>園 田 恭 一 郎</td> <td>学 校 教 育 課 長</td> <td>西 胤 英 明</td> </tr> <tr> <td>淡 窓 図 書 館 長</td> <td>穴 井 健 生</td> <td>文 化 財 保 護 課 長</td> <td>吉 田 博 嗣</td> </tr> <tr> <td>咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長</td> <td>梶 原 健 市</td> <td>博 物 館 長</td> <td>行 時 志 郎</td> </tr> <tr> <td>兼 世 界 遺 産 推 進 室 長</td> <td></td> <td>ス ポ ー ツ 振 興 課 長</td> <td>梶 原 秀 一</td> </tr> <tr> <td>人 権 ・ 部 落 差 別 解 消 教 育 課 長</td> <td>伊 東 和 史</td> <td>学 校 給 食 課 長</td> <td>本 川 明</td> </tr> </table>	教 育 次 長	中 山 敏 章	教 育 総 務 課 長	瀬 口 英 隆	社 会 教 育 課 長	園 田 恭 一 郎	学 校 教 育 課 長	西 胤 英 明	淡 窓 図 書 館 長	穴 井 健 生	文 化 財 保 護 課 長	吉 田 博 嗣	咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長	梶 原 健 市	博 物 館 長	行 時 志 郎	兼 世 界 遺 産 推 進 室 長		ス ポ ー ツ 振 興 課 長	梶 原 秀 一	人 権 ・ 部 落 差 別 解 消 教 育 課 長	伊 東 和 史	学 校 給 食 課 長	本 川 明
教 育 次 長	中 山 敏 章	教 育 総 務 課 長	瀬 口 英 隆																						
社 会 教 育 課 長	園 田 恭 一 郎	学 校 教 育 課 長	西 胤 英 明																						
淡 窓 図 書 館 長	穴 井 健 生	文 化 財 保 護 課 長	吉 田 博 嗣																						
咸 宜 園 教 育 研 究 セ ン タ ー 長	梶 原 健 市	博 物 館 長	行 時 志 郎																						
兼 世 界 遺 産 推 進 室 長		ス ポ ー ツ 振 興 課 長	梶 原 秀 一																						
人 権 ・ 部 落 差 別 解 消 教 育 課 長	伊 東 和 史	学 校 給 食 課 長	本 川 明																						
書 記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 渡辺 寛幸																								
附 議 議 案	<p>報告第19号 令和4年8月期寄附採納について</p> <p>報告第20号 新型コロナウイルスワクチン接種会場について</p> <p>報告第21号 日田市文化財保護条例第46条に基づく文化財保護審議会の答申について</p>																								

<p>教 育 長</p>	<p>ただいまから、9月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>前回議事録の確認ですが、8月定例教育委員会の議事録について、変更はございませんでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>御了解いただけましたら、本会議終了後に御署名をお願いいたします。</p> <p>教育長の一般報告につきましては、御手元に配付しております資料により報告とさせていただきます。</p> <p>次に、今月は附議する議案がございませんので、報告事項について説明をお願いいたします。</p> <p>報告第19号について説明をお願いします。</p>
<p>書 記</p>	<p>それでは議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>報告第19号 令和4年8月期寄附採納についてでございます。</p> <p>地区寄附の採納が1団体1件でございます。大明小中学校教育会様から大明中学校へビッグファン4台、13万6,400円相当を見童生徒の熱中症対策、感染症対策のため御寄附いただいております。ビッグファンにつきましては、体育館などに設置する電動の大きな扇風機のことでございます。</p> <p>次に、一般寄附の採納が2団体2件でございます。1件目が一般財団法人 井上家文化教育振興会様から教職員研修費助成金として、50万円の御寄附をいただいております。井上家文化教育振興会様からは、昭和39年から継続して御寄附をいただいているところでございます。</p> <p>2件目は、エラノイワ様から日隈小学校へバスケットボール競技の振興のため、屋外用バスケットボールのゴール1基、31万9,550円相当を御寄附いただいております。</p> <p>8月につきましては、以上3件、金額が50万円、物品相当額が45万5,950円、合計95万5,950円の御寄附をいただいております。</p> <p>報告第19号につきましては以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>報告第19号 令和4年8月期寄附採納についての説明でございましたけれども、これについて何か御質疑はございませんでしょうか。</p> <p>それではないようですので、続いて報告第20号について説明をお願いします。</p>
<p>社会教育課長</p>	<p>議案集2ページの報告第20号 ワクチン接種会場に関する報</p>

	<p>告でございます。</p> <p>日田市複合文化施設A O S Eにつきましては、これまでも数度にわたり、新型コロナウイルスワクチンの接種会場となっておりますが、この度、新たなオミクロン株対応のワクチン追加接種の会場となりますことから、御報告申し上げるものでございます。</p> <p>接種会場と期間でございますが、A O S Eの多目的ホールにおきまして、会場の使用期間といたしまして、12月19日から翌年の2月6日までとなっております。</p> <p>今回の追加接種につきましては、2回目から4回目までの直近の接種から、少なくとも5か月を経過した方に対し、順次行われる見通しとなっております。</p> <p>接種期間は、10月上旬から翌年3月までとなっておりますが、先ほど申し上げた12月から2月までの間に集団接種が行われることが決まっているということでございます。</p> <p>対象となりますのは、12歳以上の方の予定でございます。</p> <p>また、今回の接種会場提供によります利用団体等への影響につきましては、1団体ございまして、会場を代えてもらうよう御依頼申し上げたところ、快く了承していただいたところでございます。</p> <p>なお、オミクロン株対応のワクチン接種におきましては、政府の方針によりまして10月上旬からとなっており、12月から2月までの期間以外では基本的に個別接種による対応となっておりますが、早めにアオーゼが集団接種会場となる可能性もございます。その節はまた改めて、直近の定例会にてご報告させていただきます。説明は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>報告第20号 新型コロナウイルスワクチンの接種会場についての報告でございました。これについて何かご質疑はございませんでしょうか。</p> <p>それではないようですので、報告第21号について報告をお願いいたします。</p>
文化財保護課長	<p>報告第21号 日田市文化財保護条例第46条に基づく文化財保護審議会の答申について御説明いたします。</p> <p>別冊の報告第21号を御用意ください。まずは2ページをお願いいたします。</p> <p>今回の答申内容を御報告する前に、令和4年5月10日付け、日田市教育委員会から日田市文化財保護審議会に対して諮問を</p>

行った内容について説明をいたします。

諮問事項は、重要文化財行徳家住宅における災害対策についてでございます。夜明関町に所在する行徳家住宅は江戸時代の19世紀前半に建設された建物で、昭和50年に国の重要文化財に指定された後、平成24年に行徳家より日田市に寄贈され、現在市が所有管理しているところでございます。

3ページの図面をお願いいたします。平成29年7月に発生した九州北部豪雨により住宅北側の法面が崩壊し、民有地3257番地から住宅敷地内に土砂が流れ込み、住宅の床下前面に約10センチの流入がございました。

4ページの写真を御覧ください。上下に2つございます。当時は崩壊した場所が私有地であるため、住宅の敷地内において、応急的な対策として土のうの設置などを行いました。これにつきましては、下の写真で黒い土のうが見えているかと思えます。この対策から一定期間が経過したことや、未だに崩壊した擁壁が残っていることなど、文化財建造物の保護の観点から今後の災害への対策を検討することが必要と考え、市文化財保護審議会に対して諮問することとなったものでございます。

5ページの下段には、今後の取組として、災害対策を講じる上で必要と考えられる項目を提示しております。

資料の6ページから7ページには、審議会の委員として現地調査を実施した天然記念物をご専門の神川建彦委員、所見書の1番下に専門員の名前が入っております。並びに地形地質をご専門とする大分大学名誉教授 千田昇委員の所見を掲載しております。

所見には、行徳家住宅の立地が谷部にあることや、崩壊が進行中であるなどの地形的な特性、また地下水などが湧出する地点があるなどの地質的特性などを述べて、土砂災害等の発生リスクが高い場所であることを説明されております。

これらの調査結果を基にして、8月9日に令和4年度第2回日田市文化財保護審議会が開催され、今後、行徳家住宅には災害対策を講じることが必要であると結論付けられたものでございます。

1ページにお戻りください。令和4年9月8日付け、日田市文化財保護審議会から発出されました答申の内容でございます。

重要文化財行徳家住宅における災害対策については、日田市教育委員会が諮問した今後の取組案のとおり、災害対策を進めることについての必要性、緊急性を認めるとの内容でございました。

今後、教育委員会としましては、この度の答申内容を受けまして、保存対策工事に必要な経費等について来年度に向けた予算要

<p>教 育 長</p>	<p>求を行ってまいりたいと考えております。以上でございます。</p> <p>報告第21号について、御質疑はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>それではないようですので、報告事項は以上でございます。</p> <p>次に、その他について説明をお願いします。</p>
<p>教 育 総 務 課 長</p>	<p>次回の定例教育委員会の日程についてでございます。</p> <p>10月期の定例教育委員会の日程につきましては、10月28日金曜日13時30分から勉強会、15時から定例教育委員会をお願いしたいと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>10月期の定例教育委員会について、10月28日金曜日ということで提案があったところでございますが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>それではそのように決定したいと思いますので、よろしく願いします。</p> <p>そのほか何かございますか。</p> <p>なければ以上で、9月の定例教育委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。</p> <p style="text-align: right;">終了時刻：午後3時11分</p>